

和顔愛語

子どもに「感動」を与える学校

教職員が「敏働」を共有する学校

地域・保護者、教職員の「汗動」にささえられた学校



令和4年9月26日 校長 発行

小学校の授業を参観して

9月16日に、大曲小学校と大曲東小学校の5・6年生の授業を見てきました。主に学園制加配で小学校の授業に行っている2人の先生の授業を参観しました。

大曲東小学校での外国語の授業では、ALTの先生と一緒に「夏休みの思い出を絵日記にしよう」というテーマでタブレットを活用し、ワークシートに行った場所、したこと、食べた物、一言感想などを簡単な英文にして表現したり、思い出を絵に描いたりする学習でした。

板書も課題（ゴール）が明確に提示され、カードで英文にする学習内容もわかりやすく明示されていました。ワークシートもシンプルで子どもが書きやすく工夫されていました。

先生は、一人一人の生徒に机間巡視をして丁寧に教えていました。優しく笑顔でアドバイスしている姿が印象的でした。2人の児童に「英語、好き？楽しい？」聞くと「ハイ」、「楽しいです」とはっきり答えていました。



大曲小学校での理科の授業は、「てこのはたらき」の単元で小テストを通しての振り返りの学習でした。このテストは先生の手作りで、図を入れたりして見やすく、短時間で要点を復習する内容でした。いいテストだなと思いました。子どもたちは真剣にテストを受けていました。解答をする場面では、自信のある、なしでグー、チョキ、パーで拳手させていました。これは全員が拳手し、全員が授業に参加できるようにするための工夫でした。解答するときには、全員で大きな声で発表し、個人でまる付けをする習慣も見られました。先生の明るい笑顔、丁寧な言葉遣いが印象的でした。2人の児童に「わかる？」と聞くと「わかります」とはっきり答えていました。

お二人の先生の授業を見て、発達段階に応じて丁寧に工夫してわかりやすく教えていると感じました。児童たちの表情や反応、言葉からも伺えました。そして、中学校の授業というものを体感し、児童たちが、来年安心して、意欲をもって中学校に入学してほしいと思いました。子どもたちのために、一層、小中一貫教育を進めていきたいと思いました。